

令和2年度

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	今後の対応等について
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	0%	・人数によっては活動内容や場所を変更し、利用者が過ごしやすい環境を考えています。 ・スペースをフルに活用しています。	1,2,3 継続して利用児が過ごしやすい環境提供していくと共に、危険な場所等無いように毎日確認を行っています。 現在、駐車スペースの確保に向けて市に申請し、対応を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	0%	基準以上の職員を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	92%	0%	0%	8%	バリアフリー構造の園舎となっています。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	92%	8%	0%	0%	朝礼や終礼の時間を毎日設け、全職員が参加し、ミーティングを行っています。	4 送迎等により、ミーティングに参加できない職員の引継ぎを、より丁寧に行っていく必要があると思います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	0%	・アンケートを実施して業務改善に繋がっています。 ・面談や日々の送迎での会話の中で保護者の思いを吸い上げ反映しているように思います。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	92%	8%	0%	0%	萌葱の郷ホームページにて公開しています。また、全体職員会議の際には報告を行っています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	92%	8%	0%	0%	積極的に外部との交流を持ち、評価を参考に業務改善を行っています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	0%	■外部研修や内部研修を実施して研修参加の機会を積極的に作っています。 ■ケースカンファレンスは役立つため、機会を増やしてほしい。	8 ■外部研修や内部研修が充実した法人であり、事業所単体でも積極的にを行っています。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大予防ガイドラインに基づいた対策とWEB会議を導入しました。 ■適切な時期にケースカンファレンスを行います。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	0%	アセスメントを丁寧に行い、子どもと保護者のニーズや課題を取り入れた計画を作成しています。また、客観的分析の為にモニタリング会議を実施し、計画へ反映しています。		
適切 な 支 援 の 提 供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	92%	8%	0%	0%	児童用のアセスメントシートを使用しています。	9 半年に1回または適切な時期にモニタリング会議を実施し、計画の作成を行います。新規利用者の方のアセスメントは児童発達支援管理責任者を通した計画作成を行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	92%	8%	0%	0%	子ども達と一緒に考え活動プログラムを構成しています。季節や気候等、利用日の子どもたちの嗜好や支援方針を考えながら立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	0%	子ども達と一緒に考え、活動を決めています。季節を感じられる活動や子どもたち全員が楽しむことができるように新しい活動も随時取り入れています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	75%	17%	8%	0%	平日、または長期休暇に応じ、対象利用者のニーズに沿った内容を提供しているが、細やかな設定支援が課題と思われる。	10 個々の能力・特性にあった支援を行うためにアセスメントシートの活用を行うと共に、独自のアセスメントシートを活用しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	0%	個々の特性に応じた個別や集団活動を立案し提供しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	0%	朝礼で支援内容・役割分担を確認し、詳細等も全職員に伝えています。送迎等で参加できない職員への申し送りを行うとともに、自ら確認を行うという意識作りを行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	0%	支援終了後に職員間でミーティングを行います。非常勤にも引継ぎを行うため、一週間継続的に引継ぎを行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	0%	毎日、利用した時の様子を個々に記録し保管しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	0%	保護者や相談員と連携してモニタリングを行い、計画に反映させています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	83%	17%	0%	0%	ガイドラインに沿った支援の提供を行っています。	11 常に課題に向き合い支援方法を随時展開していきます。	
							15 ■独自の自己チェックリストを作成し、職員全体の意識の向上を目指します。 ■送迎場所や時間、活動内容など、口頭で伝えるほか、ホワイトボードに記載し視覚化する工夫を行っています。	
							16 ミーティング振り返りによる共通認識と支援方法を検討します。申し送りの際には状況説明をしながら情報の共有を図っています。	

関係機関や保護者との連携	20	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	0%	児童発達支援管理責任者を中心に子どもの状況に精通した職員が参加しています。	21 送迎時に対面しながら、または、電話連絡等で保護者の方と情報交換を行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、面談を実施する機会を十分に持てていない状況があります。ニーズに応じて面談や電話相談を増やしていきたいと考えています。 22,23 関係機関とは、会議を通して連携を深めていっているのので、引き続き会議や電話連絡を通して繋がりを固めているよう取り組んでいきます。 26 児童クラブとの交流については、児童クラブに通いながら放課後等デイサービスを利用している児童が多いので、特別にプログラムを組んで交流を行うニーズは高くない現状があります。そのため、個別のニーズに応じて地域との交流機会を持てるよう取り組んでいきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	0%	適切な時期を判断し、会議や連絡調整を行っています。また、送迎等を通じて細かい情報交換を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%	0%	0%	0%	現在、医療的ケアが必要な方は通所していません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%	0%	関係機関との情報交換を行いながら支援を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0%	0%	0%	相談支援専門員、保護者を通じて関係機関の会議に出席、連絡など情報を共有しています。また、定着支援のための連携も行っていきます。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	0%	発達障がい者支援専門員のスーパーバイズを定期的に受けています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	83%	17%	0%	0%	児童クラブに通っている子どもが多く、児童クラブや児童館の職員と交流はあります。また、診断の有無に関わらず、利用されているお子さんが多く通われています。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	0%	自立支援協議会の児童部会に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	92%	0%	0%	8%	送迎時や必要に応じて電話連絡などで情報交換を行っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	92%	8%	0%	0%	臨床心理士を中心としたグループミーティングに参加可能な保護者には参加を促しています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	92%	8%	0%	0%	サービス利用開始前に説明を行い、同意、承諾を得ています。	30 利用開始前にも説明を行います。疑問や不明点などは利用開始前に限らずお答えさせていただきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	0%	送迎時や電話連絡、面談等を通じてお子さんの相談等に対応しています。	31 児童発達支援管理責任者を中心に時々精通した職員が支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%	0%	行事の際には保護者連絡会を開催しています。	32 例年は保護者連絡会を開催し、保護者同士の交流機会を設けています。父母の会については保護者の負担の増加にならないよう、ニーズに応じて、すでに地域にある親の会等の紹介を行っています。しかしながら、今年度は新型コロナウイルス感染防止のために行事の中止を行いました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	0%	苦情や申し入れがあった際にはすぐに上司に報告し適切な対応がとれる体制を整えています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	0%	なごみだよりを定期的に発行しています。	34 年に3~4回のなごみ便りの発行しています。また、活動内容や行事の案内・連絡を行っています。（今年度は新型コロナウイルス感染防止の為行事を中止しています）
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	0%	事務室の施錠を徹底し、また配布物があるときは二重のチェック体制をとっています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	0%	書面での案内や、対面して情報伝達や意思の疎通を図っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	92%	8%	0%	0%	地域交流祭に事業所全体で参加し地域住民・案内を関係者に配布、周知しています。	37 例年は地域交流祭を開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染防止の為中止しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	92%	0%	8%	0%	保護者会を通じて周知を行い、掲示板への掲載も行っていきます。	38 各種マニュアルについては全保護者に伝わりきれていない部分があるので、今後保護者連絡会等を通じて再度周知をしていけるよう努めていきます。また新規利用者の方への説明を行う際にもお伝えしていきたいと思えます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	0%	定期的に避難訓練を行っています。	39 避難訓練については、様々な災害を想定した訓練を実施しつつ、消防署のスーパーバイズ等も受けながら事業所の実情に合った避難訓練および避難計画をより深めていけるよう努めていく。（今年度は事業所内避難訓練を実施しています。）
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	0%	法人に設立された虐待防止研修委員会の事業所委員を中心に全職員が研修会に参加しています。また、チェックシートを用いて防止に努めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	0%	計画の記載と共に、保護者への説明を行い同意書を作成し、署名をいただいています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	0%	食物アレルギーがある場合には指示書の提出をお願いしています。	42 事務室やおやつ管理場所にアレルギー一覧を作成し、常に把握できるように厳重な注意と対策を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	0%	ヒヤリハット報告を受け、事例集を作成し全職員で観覧し、再発防止に努めています	